



阿賀野川流域における光と影の歴史や文化、現在の様々な取組を、「大河」「公害」「大地」の3つの観点からまとめ、阿賀野川流域のSDGsを探ります。今回は、新潟水俣病が阿賀野川流域にもたらした被害や影響について、その複雑な経緯をたどった歴史を紐解きながら紹介する【公害編】です。

大河編

2023年制作

公害編

2024年制作

大地編

2025年制作  
予定

麒麟山の麓で合流する阿賀野川と常浪(とこなみ)川

新潟昭和木の排水口(山口冬人氏撮影)

阿賀町の山地から平野へと流れ出る阿賀野川



阿賀野川流域地域

令和6年度パネル巡回展

# 水と大地のSDGsをさぐる

エス ディー ジー ズ (※)

公害編

新潟県 (制作) 一般社団法人 あがのがわ 環境学舎

流域が新潟水俣病に向き合い、乗り越えるために

※SDGs(エスディージーズ)は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。詳しくは裏面をご覧ください。

「阿賀野川流域におけるSDGsをさぐる」をテーマとしたパネル展を、下記の各施設で開催します。<観覧無料>

## ●パネル巡回展スケジュール

## ●開催期間 2025.1/7 ~ 3/30

展示期間	展示施設	展示時間・備考
1/7(火)~1/17(金)	安田ショッピングセンター ウインデイ	9:00 ~ 19:00 最終日17:00まで
1/7(火)~1/17(金)	新潟市秋葉区文化会館	9:00 ~ 21:30 1/14(火)休館 最終日20:00まで
1/18(土)~1/30(木)	新潟市東区役所 南口エントランスホール	8:00 ~ 18:00
1/19(日)~1/30(木)	阿賀野市立図書館	9:30 ~ 16:30 月曜休館
2/1(土)~2/13(木)	北方文化博物館 屋根裏ギャラリー	9:00 ~ 16:30 2/4(火)・2/12(水)休館 正面受付側から入場
2/1(土)~2/13(木)	NEXT21 アトリウム	8:30 ~ 21:00 最終日18:00まで
2/17(月)~3/6(木)	阿賀町役場鹿瀬支所	9:00 ~ 16:30 2/24(月)・土曜・日曜休館
2/18(火)~3/2(日)	新潟市北区文化会館	9:00 ~ 21:00 2/25(火)休館
3/4(火)~3/17(月)	江南区文化会館内 江南区郷土資料館	10:00 ~ 19:00 金曜休館 日曜10:00~17:00
3/8(土)~3/30(日)	道の駅「阿賀の里」	9:00 ~ 16:00
3/19(水)~3/30(日)	ラポルテ五泉 ガレリア	9:00 ~ 22:00

主催: 新潟県 共催: 新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町

企画  
お問合せ先

あがのがわ  
環境学舎

一般社団法人  
あがのがわ 環境学舎

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地 1 TEL&FAX 0250-68-5424

# 阿賀野川流域におけるSDGsを3つのパネル作品を通してさぐる



**公害編**  
2024年制作

## 阿賀野川流域地域 水と大地のSDGsをさぐる

流域が新潟水俣病に向き合い、乗り越えるために

- 新潟水俣病が阿賀野川流域にもたらした被害や影響について、その複雑な経緯をたどった歴史を紐解きます。

流域とSDGs / 阿賀野川流域における新潟水俣病の概要をつかむ / 阿賀野川流域における新潟水俣病の歴史をたどる①～③…など



**大河編**  
2023年制作



**大地編**  
2025年制作  
予定

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## Sustainable Development Goals エスディー・ジーズ 持続可能な開発目標 (SDGs) とは？

持続可能でよりよい世界の実現を2030年までに目指す国際目標のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。

「安全な水…を世界中に」「質の高い教育をみんなに」など、左図に掲げられた17の目標(Goals)の達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、すべての国々で取り組むべきとされています。

◀17のゴール(※18個目のアイコンは、SDGsを表すカラーホイール)

## 過去の作品(一部)のご紹介

展示を希望される方や団体には、無料で貸し出しております。  
詳しくは右記までお問い合わせください。

お問合せ先



一般社団法人

あがのがわ環境学舎

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 3866 番地 | TEL&FAX 0250-68-5424



貴重な写真などから  
昭和30～40年代の日本、高度経済成長の光と影  
～躍進する日本経済の陰で、四大公害が投げかけた問い～



貴重な写真などから  
阿賀野川の川業が盛んだったあの頃  
～川業の隆盛と衰退、新潟水俣病の影、阿賀野川の現在～



貴重な写真などから  
阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷  
明治・大正・昭和～近代産業がたどった光と影の縮図



懐かしい写真で振り返る  
阿賀野川・光と影の近代ものがたり  
～イザベラ・バードから近代産業まで～



阿賀野川と銅山、ダム、そして高度成長の果てに  
～大河と近代産業が織りなした光と影～



阿賀野川と大地が織りなす光と影【後編】  
～大河と共に生きてきた半農半漁の地域～



阿賀野川と大地が織りなす光と影【前編】  
～大河と共に生きてきた松浜・横越～



阿賀野川と共に生きたあの頃  
～風土と歴史が織りなす光と影～



鹿瀬・昭和電工・阿賀野川  
～光と影を織りなしてきた歴史～



草倉銅山の光と影  
～鉱山に魅せられた人々～



## 阿賀野川 えとことプロジェクト

正式名称「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。